

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉南市商工会	
	代表者職・氏名	会長 藤田 眞弘	
	所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5	
	担当者	職・氏名	事務局長 土井 一茂
		連絡先	TEL（直通）： 072-483-6365
Fax： 072-483-5321			
E-mail： info@sennan-sci.or.jp			
①設立年月日	昭和47年7月10日		
②職員数 （うち経営指導員数）	6名（経営指導員5名）（令和6年3月31日現在）		
③所管地域	大阪府泉南市		
④管内事業所数	1,943（令和3年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	1,272（令和3年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	1,218（令和6年3月31日現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>(5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>(7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>(12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。</p> <p>(15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握・解決するため、巡回指導及び窓口相談を通して潜在的なニーズの収集、事業所に応じた適切かつ効果的な経営アドバイスと具体的な経営支援を実施することにより、活力に溢れた地域経済を自治体はじめ公的機関・団体、地元金融機関等と連携を図り構築することを目標とする。経営相談事業では、相談者が抱える経営課題をしっかりとヒアリングする中で抽出・把握しニーズに合致した経営支援を行う。経営課題解決に向けたサービスの提案と必要に応じた支援を行うことを目標とする。専門相談支援事業においては、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため各種専門家と連携し、課題に対して迅速に対応解決することを目標とする。地域活性化事業においては、事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーや府連携及び広域連携、独自提案事業を行うことにより、販路開拓・脱炭素経営・事業承継など小規模事業者の経営の持続的発展に向けた事業展開を目標とする。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>経営相談支援事業では、各事業所のニーズと現況を十分に把握した上で、迅速かつ確かな回答が出来るよう職員向けセミナーを開催し、職員の資質向上に努め組織体制を整えた。特に情報提供と昨年度に続き会員向けアンケートを実施し、巡回訪問を重点的に実施した。補助金の活用に向けた事業計画書策定支援も増加し、販路開拓や生産性向上に向けた取り組みに関する支援を強化し、日本政策金融公庫泉佐野支店との連携により、経営改善に向けた資金調達支援・事業承継支援に努めた。専門相談支援事業では、経営指導員だけでは単独支援が困難な高度専門的な課題については、専門家と連携し事業者の抱える課題解決に努めた。</p> <p>地域活性化事業については、忠岡町・熊取町・阪南市・岬町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、商工会物産展を効率的に効果が上がるように事業を実施した。また、多くの事業者が抱える課題（インボイス対応や電子帳簿保存法対応など）の解決に資するセミナーを開催するとともに、大阪府の支援施策の周知や活用促進（脱炭素経営や大阪万博機運醸成など）も積極的に推進した。人材確保支援として中高年齢層も含めた幅広い層の求職者へ向けた合同就職面接会を実施した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>経営相談支援事業では、管内小規模事業者が抱える潜在的な経営課題を巡回指導によるヒアリングを基に経営実態を把握した。経営指導員が適切・丁寧な指導を心掛けることで、多種に渡る経営課題の解決に向け、相談事業者に一步踏み込んだ伴走型個社支援を効果的に支援することが出来た。今年度はマル経融資、販路開拓支援、インボイス制度・電子帳簿保存法対応による記帳支援や労務相談など、小規模事業者等が抱える経営課題の発掘と相談内容に応じた経営支援を実施した。専門相談支援事業では事業計画策定や労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、金融・税務・法務・経営の定期窓口相談にて支援を実施した。地域活性化事業では「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催し、運営協議会・実行委員会が中心に軌道に乗せ、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「せんなんまちゼミ」は実行委員会が中心となり、「泉南まるごとフェスティバル」と協調し認知度向上、集客アップのためSNS等の活用をより進めた。「工業振興対策事業」ではニーズの高い先進事業所視察と情報交換会、経営セミナーを開催した。また、管内中小企業が『2050年CO2排出量実質ゼロ』を目指し、未来社会の情報共有や持続可能な脱炭素社会へ向けた取り組みなどを紹介した「脱炭素経営へ向けた取り組み支援事業」を開催した。2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを併せて目的とし開催した。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>ウクライナ情勢や円安といった新たな外部環境の変化が小規模事業者に与える経済的影響は非常に大きい。加えて消費税インボイス制度や電子帳簿保存法への対応などの経営課題が山積している状況である。多くの事業者が高齢化し事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業承継をスムーズに行えていない。商工会は事業の内容拡充を図り、巡回指導・窓口支援を中心に最低賃金引き上げやDX化といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者からの経営相談や各種申請サポートを行うため、相談員等の配置による支援体制の強化や課題解決を円滑に進めるための専門家の派遣、制度周知・広報事業により一層取り組む必要を感じた。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>緊迫が続く国際情勢に伴う資材・原材料等の高騰や急激な為替変動による円安の進行などは、地域経済の在り方を抜本的に変えるには十分なものであり、管内中小・小規模事業所を取り巻く経済は依然として非常に厳しい状況にある。こうした現状を踏まえ、商工会は巡回指導を基本とした伴走型の指導・助言により事業所の実態把握に努め、ポストコロナを見据えたビジネスの変革に伴うデジタル化の推進、新事業展開へ向けた事業計画作成や脱炭素・カーボンニュートラル・雇用促進・人材育成・ジェンダーレスなど持続可能な社会実現に向け、中小・小規模事業者のニーズにあった適切な事業支援の拡充を図り、経営課題解決に向け支援を実施するとともに地域経済の更なる活力を生み出せるよう事業を実施する。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉南市商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>2023年はロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷、イスラエル・ハマス戦争を要因とした国際商品相場の高騰と景気悪化などにより、円安の進行やエネルギー価格・原材料費の高騰が収益を圧迫するなど中小・小規模事業所を取り巻く経営環境は依然として厳しい業況にあった。当商工会では経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所実訪の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛け相談支援を実施した。事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで継続支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。経営相談支援事業は令和5年度より開始されるインボイス制度や電子帳簿保存法の対応に伴い記帳支援が非常に多い年となり、個別支援だけではなく、セミナーを開催するなどして事業所の知識習得に向けて丁寧な支援をすることに努めた。高度専門化する相談内容に対応するため、専門家の知識が必要である場合が多く、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る無料相談窓口体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。</p> <p><代表事例カルテ></p> <p>割烹料理店にて料理人として勤務し、2022年8月に当商工会にて特定創業支援を受講。2023年には創業支援・事業計画作成支援を受け、同年10月より独立開業している。和食料理人としての経歴を活かしたテイクアウト商品の製造販売を行うため、改装費用および開業に係る費用の支払資金を確保する必要があり、金融支援を実施した。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	214	231	107.9%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	25	23	92.0%	4	
金融支援（紹介型）	支援数	15	16	106.7%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	25	24	96.0%	4	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	2	66.7%	3	
資金繰り計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	3	
記帳支援	事業所	71	99	139.4%	5	
労務支援	支援数	46	46	100.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		-	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		-	
販路開拓支援	支援数	57	58	101.8%	5	
事業計画作成支援	支援数	20	22	110.0%	5	
創業支援	事業所	5	4	80.0%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	1	100.0%	4	
コスト削減計画作成支援	事業所	7	11	157.1%	5	
財務分析支援	事業所	20	21	105.0%	5	
5S支援	事業所	0	0		-	
IT化支援	事業所	5	5	100.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	2	2	100.0%	4	
災害時対応支援	事業所	0	0		-	
フォローアップ支援	事業所	50	50	100.0%	5	
結果報告	事業所	214	231	107.9%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>税務相談においては、事業主の高齢化に伴い、事業承継（相続）に係る相談やインボイス制度・電子帳簿保存法への対応の相談が多く、スムーズに事業を行うため税務面からの解決に役立った。法務相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをしていただき、解決に向け前進させることが出来た。労務相談においては、各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決、就業規則の見直しや新規採用に向けたアドバイス等を実施した。経営相談においては、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	6	11	183.3%	5
税務相談	継続	相談件数	6	10	166.7%	5
金融相談						
労務相談	継続	相談件数	6	10	166.7%	5
その他相談	継続	相談件数	12	15	125.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>商業・工業関係における地域活性化事業では、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。経営セミナーでは大阪府商工会連合会の「経営トピックセミナー」事業を活用した動画配信でのセミナーを実施した。参加事業所から受け入れられた実感もあり、次年度以降も引き続き知識習得や補助金概略説明等について動画配信の手法を取り入れ実施していく予定である。</p> <p>泉南地域活性化の起爆剤としてスタートした「せんなんまちゼミ」は、今年度7年目となるが、実行委員会を中心に参加店勉強会や研修会・交流会等を実施し、イベント実施に向けて参加店舗の意識改革も図ることができた。次年度以降に更なる集客アップに向けて取り組みをスタートさせる準備を整えた。また、泉南を代表するイベントとして令和5年11月19日に、泉南りんくう公園にて「泉南まるごとフェスティバル」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催した。当日は8,000名の来場者を迎えた。泉南市内事業からの出店の意向も多くなっており、泉州地域の事業者が売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組むことができるよう支援を実施した。この「泉南まるごとフェスティバル」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会・商工会青年部・女性部と連携、また広域連携事業としてオール泉州で取り組むことができ、今年度より運営協議会・実行委員会を組織して企画立案を行いイベントを実施した。また、FM802とタイアップした大阪関西万博機運醸成イベント「チームEXPO」と同日開催するなど更なるイベントの認知度を上げることができた。</p> <p>「工業振興対策事業」では、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進した。この事業はりんくう地域全体を範囲とし、事業者間で連携できる体制を整えることを目的とし、工業振興対策委員会を中心にニーズが高かった「ドローン活用セミナー」を開催、先進事業所視察と情報交換会は地球環境のいまを伝えるとともに、花王製品のライフサイクルにおける環境に配慮した最先端のエコ技術によるモノづくりを学ぶため、花王(株)和歌山工場の花王エコラボミュージアムを視察した。</p> <p>中小企業が『2050年CO2排出量実質ゼロ』を目指すため、未来社会の情報共有や持続可能な脱炭素社会へ向けた取り組みなどを紹介した「脱炭素経営へ向けた取り組み支援事業」を実施した。各企業が現状把握することで、事業活動の課題を把握し、対策を講じるキッカケにし、新事業展開も含め事業経営に取り組むことを目的とする。また、関西国際空港近郊区域でもある泉州において、2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを併せて目的とし、阪南市・熊取町・岬町・忠岡町と共催にて開催した。</p> <p>当商工会は3期連続、令和6年3月11日に「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」認定され、今後は健康経営においても積極的に情報発信していく。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	35	30	85.7%	83.3%	まちゼミ実施後のアンケートにおいて事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合	70%	76.7%	109.6%	5
	工業振興対策事業	35	38	108.6%	94.7%	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	70%	89.5%	127.9%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	58	116.0%	87.9%	新規客獲得・売上増加した事業所	30社	48社	160.0%	5
○	脱炭素経営へ向けた取り組み支援事業	40	40	100.0%	97.5%	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	70%	90.0%	128.6%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業						
想定する実施期間		平成29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しているため、個店の集客力が乏しく収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足を、地域には賑わいを取り戻すことを目指す。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を営んでいる事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業。またBtoCを行っている製造業。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第7回せんなんまちゼミの実施】 令和6年2月1日～2月29日の期間で、得する街のゼミナール「第7回せんなんまちゼミ」を開催し、泉南市内の30事業所において46講座を開講した。</p> <p>【まちゼミ実行委員会】6回開催 参加店舗の主体的な関わりを促すため、3名の委員で構成される実行委員会を実施し事業を推進した。 令和5年 6/20 (火) 7/18 (火) 8/29 (火) 10/24 (火) 11/14 (火) 令和6年 3/27 (水)</p> <p>【まちゼミ参加店勉強会】3回開催 下記の通り研修会と結果検証会を開催し、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。参加店向け「まちゼミ何でも相談室」ではまちゼミのアフターフォロー、成果、今後の事業展開、その他質疑応答と情報交換を行った。まちゼミに初めて参加するメンバーや参加経験の浅いメンバーが混ざり意見交換を行うことでまちゼミ開催に向けた不安を解消し、参加意識の向上を図った。 ①第1回参加店研修会・交流会 令和5年10月4日 (水) 講師：岡崎まちゼミの会より招聘 ②第2回参加店研修会 (まちゼミ何でも相談室) 令和5年12月12日 (火) ③結果検証会 令和6年3月28日 (木)</p> <p>【まちゼミPRブースの運営】 令和5年11月19日 (日)に泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK) で開催された「泉南まるごとフェスティバル」にまちゼミPRブースを設置、せんなんまちゼミ事業の認知度向上とせんなんまちゼミ公式LINEアカウント登録勧奨のためミニ講座体験 (スライム作り・血管年齢測定) を実施した。</p> <p><事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携							
	②広域連携							
③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市公式ラインアカウントやフェイスブックによる広報、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。							
④相談相乗	まちゼミ開催をきっかけに新規事業立ち上げに向けた事業計画策定支援、企業連携を目的とした紹介支援を個別事業所支援にて対応した。							
計画に対する実績 (数値)	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	85.7%	満足率	83.3%

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>【第7回せんなんまちゼミ】を開催し合計373名の受講者（1事業所あたり12名）を迎えることができた。まちゼミに参加した受講者に対して店の良さを伝え、店主やスタッフとのコミュニケーションを通じて信頼を獲得することで、後の顧客候補を獲得することができた。参加事業所には新規顧客開拓、販路開拓に積極的な事業所が多く、まちゼミを通じて今後の事業に対する前向きな意識変化をもたらすことが出来た。また、まちゼミ参加店勉強会とまちゼミ結果検証会を開催、他の事業者とコミュニケーションを図る場を設定することで、お互いに刺激し合い仲間意識を高めることができた。</p> <p>1.支援企業数（実績）について 募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介 参加企業数・・・計画段階では35事業所を目標としていたが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から参加を見送る事業所もあり30事業所が参加するにとどまった</p> <p>2.満足率について まちゼミ実施後の講師店アンケートにて、「今回のまちゼミに参加してどうでしたか」の問いに対して「満足」「やや満足」と回答した比率 25件/30件=83.3%</p> <p>3.指標について せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において事業所や商品のPR,新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合 支援企業数・・・・・・・・・・【30】 成果があった事業所数・・・・【23】</p>				
	代表指標	まちゼミ実施後のアンケートにおいて事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合				
	数値目標	70%	実績数値	76.7%	目標達成度	109.6%
	成果の代表事例	<p>カイロプラクティック事業者・・・泉南市内を中心に事業展開をしている事業者で、新規顧客獲得を目的に今回せんなんまちゼミに初参加した。まちゼミ開催期間中には19名の受講者を迎えることができ、その中から実際に顧客を創出することができた。まちゼミに参加するメリット、効果を実感されており、今後も継続してまちゼミに取り組む意欲を見せている。今後アフターフォローの実施や、SNS発信について支援を実施する予定である。</p>				
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>・ゼミにより受講者数のばらつきがあり、参加者0名のゼミが存在する。 受講者を集められている講座と、集められていないゼミがある。ゼミ自体の魅力アップやチラシ文言に開催スケジュールについて助言を行い集客につなげられるよう支援を実施する。</p> <p>・開催時期の検討 現状、2月を開催時期として設定しているがインフルエンザ等感染症の影響が出やすい時期である、一般的に閑散期にあたり人出が鈍く集客につながりにくい、との理由により開催時期見直しの声が参加店より挙がっている。集客力の改善が見込まれる時期に開催時期を変更することについて、実行委員や参加店含め検討を行う。</p>				

泉南市商工会

事業名		工業振興対策事業							
想定する実施期間		令和3 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響により、りんくう地域を中心とした沿岸部、市内内陸部と山陸部に点在する製造業を中心とする工業系事業者にとって、経営課題を共通認識し課題解決に向けた地域事業者間の情報交換は重要度を増している。先進事業所などの技術やノウハウ、経営方針など他社事例を視察することで自社の気付きや取り組み方向性を見出し前向きに経営すること、また中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナーを開催し、経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業を中心とした工業系事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>工業系事業者をターゲットとし、自社の経営力強化に結び付くよう下記事業を開催した。</p> <p>①経営セミナー【人材育成型】 経営セミナーとして、工業振興対策委員会にて、事業者の経営力の向上に資するものを検討し、ドローンビジネスについてのセミナー内容を決定し、令和5年11月29日（水）14時～16時にて「ドローンビジネス活用セミナー」を開催した。</p> <p>②先進事業所視察と情報交流会【人材交流型】 工業振興対策委員会にて視察先を検討し、令和6年3月22日（金）9時45分～16時30分にて、花王(株)エコラボミュージアムを視察先として、事業所視察ツアーを開催した。また、合わせて情報交流会を実施し、自社PRの取り組みや、情報発信・名刺交換を行い、他社の現状や経営方針を聞くことで、双方向での交流拡大が図れ、また商工会から参加事業者へそれぞれに適した支援施策の情報提供を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。						
	④相談相乗	セミナー参加事業者より、ドローンのライセンス制度についての相談対応を行い、民間、国家ライセンスの詳細説明、手続きについての支援対応を行った。先進事業所視察における情報交流会において、支援施策等の情報提供を行い、事業所支援へとつなげることができた。							
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	38.0	支援実績率	108.6%	満足率	94.7%
事業全体の実績	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>当商工会工業振興対策委員会にて会議を重ねて、経営セミナーについては、ドローンビジネスのセミナー開催を決定し、先進事業所視察と情報交流会として、花王(株)エコラボミュージアムを視察先として事業所視察を実施した。</p> <p>①経営セミナーについて ドローンビジネス活用セミナーを開催し、ドローンの運用・活用事例について理解してもらい、ドローンの自社活用の参考となった。また、ライセンス制度についても正しく把握してもらった。</p> <p>②先進事業所視察と情報交流会について 先進事業所視察先として、花王(株)エコラボミュージアムの視察を実施した。花王製品の環境に配慮したモノづくりを体験でき、満足度の高い内容となった。原材料選びから、ごみに出すまでのすべてをエコロジー視点で考える取り組みを体験を通して学ぶことができた。視察研修を通じて、CSRやサステナビリティの認識についても、考える良い機会となった。</p> <p>また、他事業者と一緒に視察を見学することで、コミュニケーションが生まれ、その中で情報共有や情報交換といった地域事業者との交流のきっかけとなった。</p>							

目標達成度	代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70%	実績数値	89.5%	目標達成度	127.9%
	成果の代表事例	<p>①経営セミナーについて ドローンのビジネス活用セミナーを通じて、多種多様なドローンの活用事例を学ぶことができ、自社でも活用を模索していきたいと視野を広げ、ビジネス展開につなげる気づき学びとなった。また、ドローンのライセンス制度についても把握することができた。</p> <p>②先進事業所視察と情報交流会について 環境に配慮したモノづくりを視察することで、自社にとっての製品工程において環境に配慮した取り組みが必要であると自覚でき、CSRやサステナビリティの意識付けにもなった。また、他社との交流の場がない中、名刺交換や情報交換といった地域企業の交流をはかることができた。</p>				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナー開催や、事業所視察を実施することで自社の気づきや前向きな経営活動となるよう、次期以降も継続して取り組む。また、事業者との交流の場となる機会を創出し、つながりを増やし、工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化となるよう継続して実施していく。				

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	86.7%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	ドローンの活用事例、ライセンス制度について学んでもらい、自社活動において、ドローンを参入するビジネスモデルを考えるきっかけとなった。							
		指標	今後の事業に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
	数値目標	70%	実績数値	80.0%	目標達成度	114.3%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	115.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	花王(株)エコラボミュージアムを視察し、環境に配慮したモノづくりを体験することで、自社活動におけるたくさんの気づきや学びへとつながった。また、他社との情報交換を交わすことができ、名刺交換、情報共有を行うことで、交流の場にもなった。							
		指標	視察先の取組を参考にし、経営課題の解決の取り組み、取り組みたいと回答した事業者の割合						
	数値目標	70%	実績数値	95.7%	目標達成度	136.7%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

令和5年度（2023年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉南市商工会

事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業						
想定する実施期間		平成25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商店のほとんどが点在している泉南地域では、商業集積地が点在しているため、個店の集客力が乏しく収益をあげるのが難しい現状がある。そこで地域の事業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」（地域で生産されたものを知って消費する）として物産展を開催することで集客力を高めることが出来る。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知ってもらい、販路開拓につなげることを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【泉南まるごと物産展の実施】 令和5年11月19日（日）10時～15時に「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）で開催し、当イベント内において「地域連携型泉南まるごと物産展」を実施した。近隣商工会と連携し計58社（泉南市34社・阪南市13社・熊取町5社・岬町4社・忠岡町2社）が出店し商品と事業所のPRを行った。当日は天候に恵まれ約8,000名の来場者を迎えることができ各出展事業所の販売・PRに寄与した。</p> <p>今回で4回目となる「泉南まるごとフェスティバル」は、過去7回開催した地域活性化イベント「泉南マルシェ」を令和2年にリニューアルし、後継イベントとして泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催しており、泉南市内のみならず市外からも多くの人を集められるイベントとして成長している。</p> <p>泉南地域の事業者が出店する「泉南まるごと物産展」、手作り作家が出店する「手作りの森マルシェ」、農業者と漁業者が一次産品を直接販売する「新鮮市場」、大阪府技能士会連合会と連携した「ものづくり体験教室」、泉南市や泉南市観光協会が実施する泉南の魅力を発信するワークショップなど、総計で100近いブースが一堂に会し、泉南地域の魅力を発信したことで会場を盛り上げ、消費につなげることができた。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携	会場の一角に大阪府技能士連合会の技能士PRブースを設置し、【大阪府印章技能士会による石のはんこづくり教室】【大阪府フラワー装飾技能士会によるフラワーアレンジメント教室】【大阪府調理技能士会によるプロに学ぶだし巻きのコツ料理教室】【大阪府畳技能士会によるミニ畳制作教室】【大阪内装仕上技能士会による壁紙封筒づくり教室】の5つのものづくり体験教室を開催し、来場者に対し技能士が有する技術や技能をわかりやすくアピールするとともに、若者へのものづくり体験の機会を提供した。						
	②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡を取りつつ円滑な事業運営を実施した。						
③市町村連携	泉南市産業振興課の担当者含め、地域関係団体で「泉南まるごとフェスティバル運営協議会」「泉南まるごとフェスティバル実行委員会」を組成し会議を開催した。地域の事業者と行政、商工会がタッグを組みイベント実施に向けた検討、打合せを行うことができた。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布、市関係のSNSでの発信など広報を行うことができた。イベント当日は泉南市の施策RPブース、こども政策課によるワークショップブースを設け行政施策をアピールすることができた。							
④相談相乗	イベント出店の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援し、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施した。							
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	58.0	支援実績率	116.0%	満足率	87.9%

事業 全体 の 実績 ／ 目標 達成 度	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	『泉南まるごとフェスティバル』は各団体の垣根を乗り越え、泉南市の行政・商業者・商工会がワンチームで取り組む一大イベントであり、商工業のみならず農海産物の出店や、地域の各団体を含めた出店を通じて泉南の魅力を広く発信することができた。 泉南市内のみならず近隣市町村や他府県からの来場もあり、泉南の物産・店舗についてPRし販路開拓、売上につなげることができた。回を重ねるにつれて地元からのイベント認知が広がり、泉南市内の事業者からの出店希望数が増加傾向にあり、ニーズの高い事業となっている。(前々回23社→前々回26社→前回32社→今回34社) 物産展への出店を通じて、事業所には商品開発や販促方法について前向きな意識変化をもたらすことができた。				
		1.参加企業数(実績)について 泉州地域の5商工会による広域連携事業として実施し、泉南市から34店舗、阪南市から13社、熊取町から5社、岬町から4社、忠岡町から2社、合計58社の出店となった。 2.満足率について まるごと物産展終了後のアンケートにて満足・やや満足と回答した出店事業所数の割合(51/58)を計上している。 3.指標(新規顧客獲得・売上増加した事業所)について ①販売件数50件以上 ②販売金額20,000円以上 のどちらかに該当する事業所数:48社				
		代表指標	新規客獲得・売上増加した事業所			
		数値目標	30社	実績数値	48社	目標達成度
事業 全体 の 実績 ／ 目標 達成 度	成果の代表事例	食品製造業:レトルトカレー製造 泉南市内でレトルトカレーを製造している事業所、今回イベント出店に合わせて屋外で体験できるワークショップ(自分だけのカレー粉を作ろう)を実施した。ワークショップ体験者にはレトルトカレーを一つサービスするという特典をつけることで集客力アップを狙い、ブースは常時賑わっていた。来店者には事業のPR、自社SNSアカウントのフォローを奨励し、フォロワーの増加につながった。フォロワーに対しては自社で取り組む工場直売イベントの情報を発信することでイベント後の顧客開拓、自社のファン作りにつながった。				
	その他目標値の実績	目標値(計画)	4,000名	目標値(実績)	8,000名	目標達成度
実施 結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	イベント開催にあたり、新聞折込やポスティング、地域の幼稚園・小中学校でのチラシ配布、Instagram・Facebook等のSNS活用、出店事業者への開催告知協力依頼等により告知をはかった。その他イベント情報サイトを活用した情報発信、FM802と連携し番組内で開催告知を行ったことで、泉南市内外、他府県からの集客にもつながった。				
		今回で第4回目を迎えた当イベントは、事業所や地域団体による出店で100近いブースが軒を連ねる大型イベントとなっているが、出店者数が多いことで「品目のかぶり」「売上の分散」「配置による売上の偏り」が見受けられるようになった。今後の対応として「出店者への魅力ある出品支援」「来場者の購買意欲を高める取り組み」「適切な店舗配置」について検討し、全体的な魅力アップ、来場者アップ、売上アップを目指す。				

泉南市商工会

事業名		脱炭素経営へ向けた取組み支援事業							
想定する実施期間		令和5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業が『2050年CO2排出量実質ゼロ』を目指し、未来社会の情報共有や持続可能な脱炭素社会へ向けた取組みなどを紹介する。各企業が現状把握することで、事業活動の課題を把握・対策を講じるキッカケにし、新事業展開も含め事業経営に取り組むことを目的とする。また、関西国際空港近郊区域でもある泉州において、2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを併せて目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）事業全般の経営者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催内容：脱炭素経営×2025大阪・関西万博セミナー 開催日時：令和5年10月17日（火）14時00分～16時00分 開催場所：泉南市商工会館</p> <p>●第1部「脱炭素社会に向けた成功事例と今後の未来社会について」 「脱炭素社会とは何か」等の知識や「何から取り組めばよいか」等のノウハウをわかりやすく事例を交えて解説をした。</p> <p>●第2部「2025大阪・関西万博開催における中小企業の参画・最新について」 2025年大阪・関西万博の概要、ビジネスの場としてどのように参画できるのか、最新情報の提供を行った。</p> <p>●活動報告 大阪府から万博商談もずやんモール等についての情報提供を実施した。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	中小企業支援室経営支援課経営G、企画調整Gと連携し、中小企業に対しての情報提供を実施した。						
		②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集、チラシ配布やHP掲載など業務を分担した。						
	③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。							
	④相談相乗	中小企業等向けの脱炭素における支援施策についての相談対応を行った。また万博商談もずやんモールについて情報提供を行った。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	100.0%	満足率	97.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>脱炭素経営×2025大阪・関西万博セミナーを開催し、第一部「脱炭素社会に向けた成功事例と今後の未来社会について」では、中小企業にとってもこれからの課題となり、気づきや意識付けになった。また、参考事例、中小企業支援施策の説明、解説をし、参加受講者の方の満足度も高いセミナーとなった。</p> <p>第二部「2025年大阪・関西万博開催における中小企業の参画・最新情報について」では、最新の概要、参加説明の最新の情報を提供し、出展等参加へと意欲向上となり機運醸成につながった。その他活動報告として、大阪府(万博商談もずやんモール事務局)から万博商談もずやんモールの詳細説明の情報提供を行った。</p>							
		代表指標	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	90.0%	目標達成度	128.6%		
	成果の代表事例	セミナーを受講後、脱炭素経営の取組みの内容や成功事例を学び、具体的な脱炭素経営につながる支援や2025年大阪・関西万博開催参画につながる伴走支援はできなかったが、情報発信や経営活動における気づきの支援となった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	脱炭素社会実現に向けて中小企業にても今後の課題であることを認識し、課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを受講し、次期以降も継続して取り組む。また、2025年大阪・関西万博開催における開期が迫っている中で、事業所がどのように参画できるのかを、大阪府、市町村とも連携を取りながら情報発信、支援へと結びつけたい。
------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------